

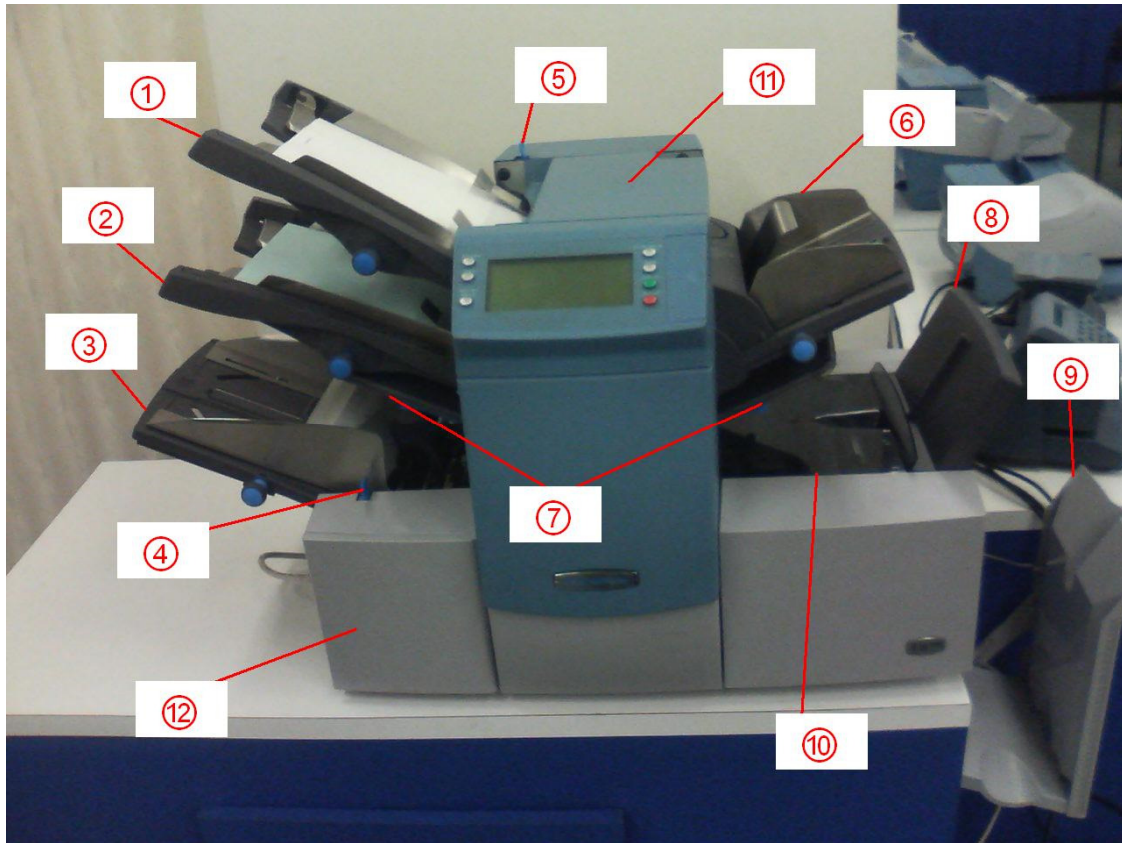
デスクトップインサーター DI350/380 シリーズ

日常のお手入れについて



## DI350/380/400/425 シリーズ 日常のお手入れについて

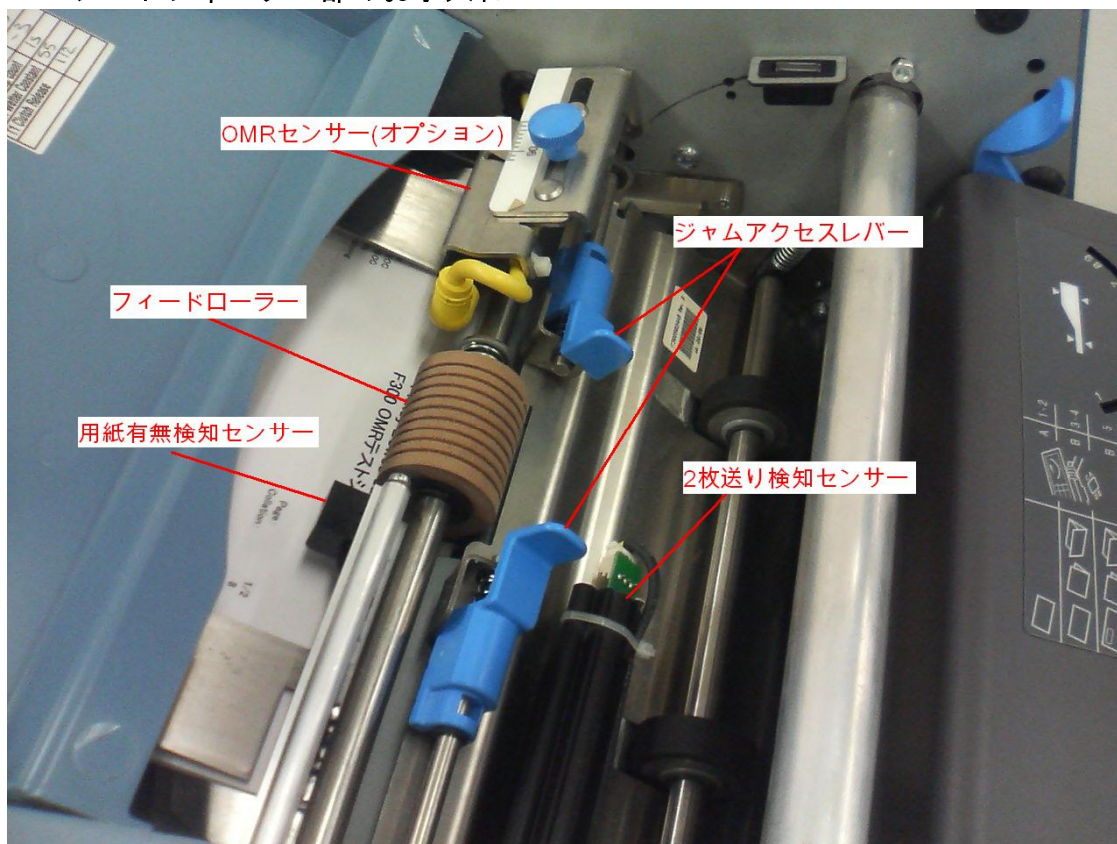
### 1. 各部の名称



- ①シートフィーダー1
- ②シートフィーダー2
- ③封筒フィーダー
- ④フラッパー解除レバー
- ⑤手差し切り替えレバー
- ⑥インサートフィーダー

- ⑦折りプレート
- ⑧インバーター
- ⑨スタッカー
- ⑩モイストナーカバー
- ⑪トップカバー
- ⑫ハンドクランクカバー

## 2. シートフィーダー部のお手入れ

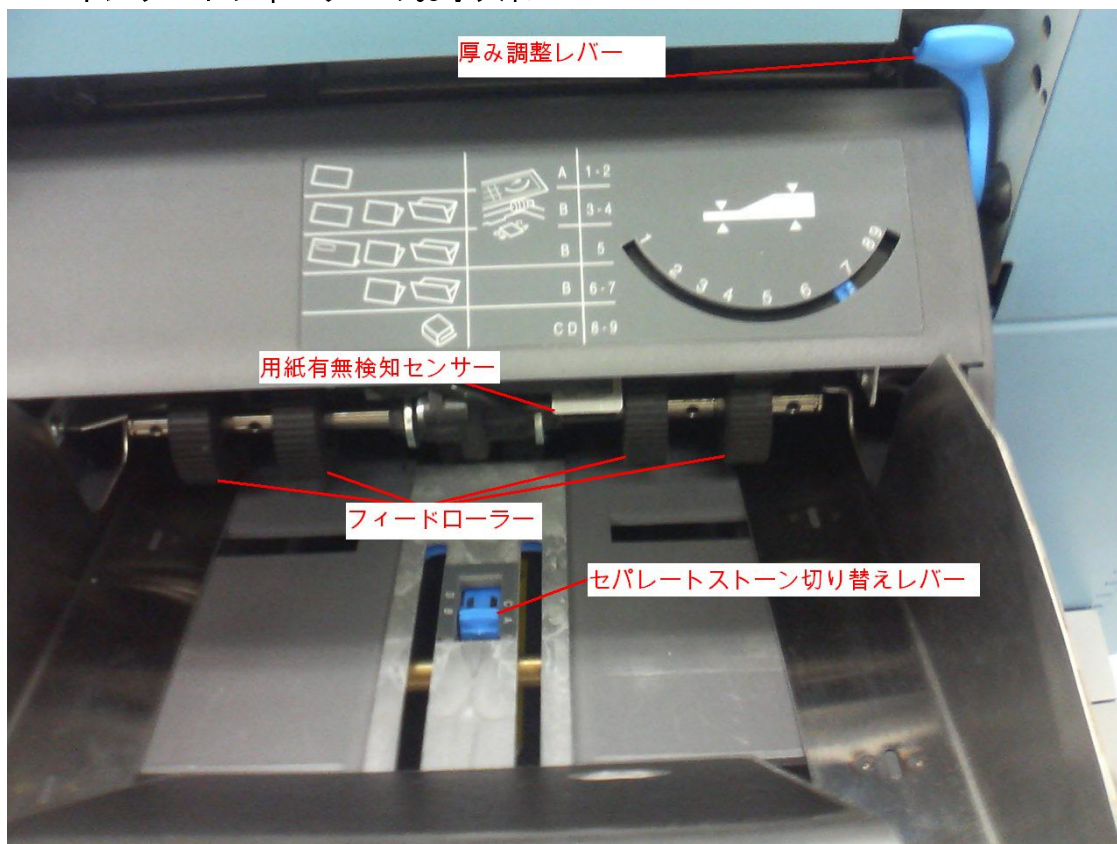


お手入れの前に、トップカバーを開けてください。

- ・ OMR センサー (オプション)  
OMR コードを読み取るセンサーです。汚れていると OMR コードの誤読が発生します。エアダスターでセンサー面を清掃してください。
- ・ フィードローラー  
用紙を送り出すローラーです。汚れているとフィーダーからの送り出しが悪くなります。専用のローラークリーナーにて清掃してください。
- ・ 用紙有無検知センサー  
シートフィーダーに用紙があるかを検知しているセンサーです。エアダスターでセンサー面を清掃してください。
- ・ 2枚送り検知センサー  
用紙の厚さを計測し、ダブルフィードを防止するセンサーです。エアダスターで埃を吹き飛ばすように清掃してください。
- ・ ジャムアクセスレバー  
用紙が詰まった際に摘んで持ち上げることで通路部が開きます。

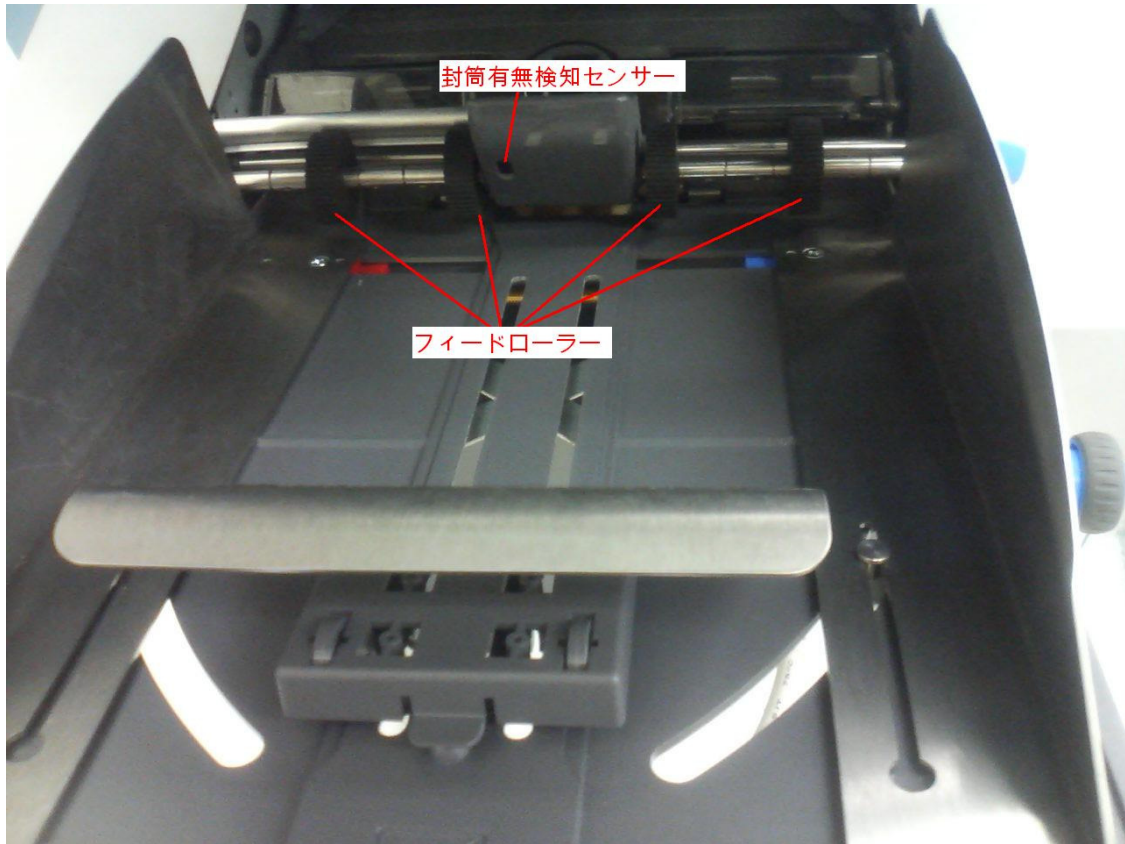
\* シートフィーダー2はジャムアクセスレバーが付いていませんが同様の機構になっています。同じようにお手入れしてください。

### 3. インサートフィーダーのお手入れ



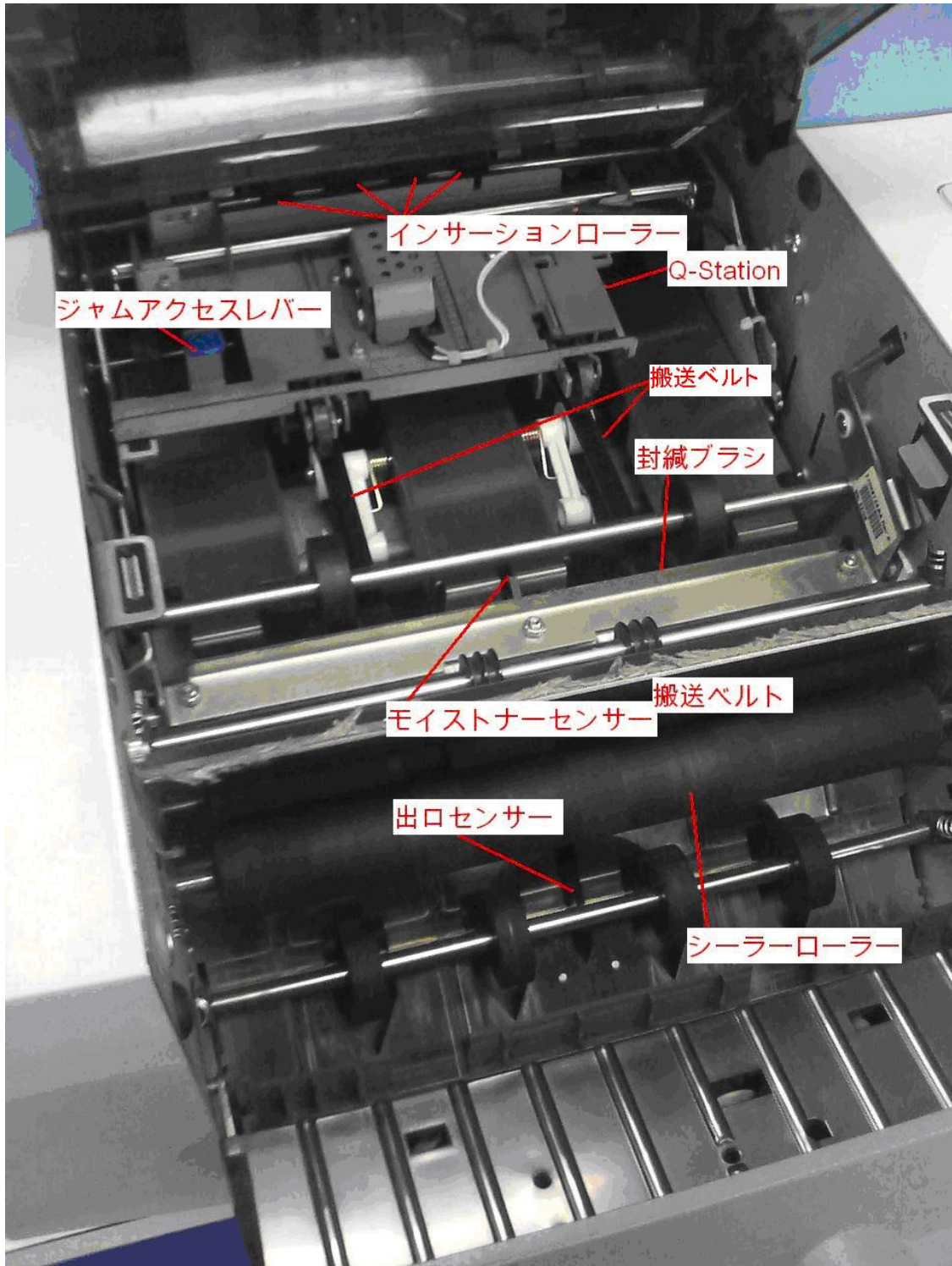
- ・用紙有無検知センサー  
シートフィーダーに用紙があるかを検知しているセンサーです。エアダスターでセンサー面を清掃してください。
- ・フィードローラー  
用紙を送り出すローラーです。汚れているとフィーダーからの送り出しが悪くなります。専用のローラークリーナーにて清掃してください。
- ・厚み調整レバー  
同封物の厚さによって、任意に切り替えるレバーです。用紙の入り口の広さが変更されます。1～9の範囲があり、厚いものほど大きな数字にする必要があります。特にお手入れの必要はありません。
- ・セパレートストーン切り替えレバー  
同封物の厚さによって、任意に切り替えるレバーです。用紙の捌きの強さを調整することができます。A～Dの範囲があり、Aにするほど捌きが強くなります。特にお手入れの必要はありません。

#### 4. 封筒フィーダーのお手入れ



- ・ 封筒有無検知センサー  
封筒フィーダーに封筒があるかを検知しているセンサーです。エアダスターでセンサー面を清掃してください。
- ・ フィードローラー  
封筒を送り出すローラーです。汚れているとフィーダーからの送り出しが悪くなります。専用のローラークリーナーにて清掃してください。

## 5. 封入・封緘部のお手入れ



お手入れの前に、モイストナーカバーとインバーターを開いてください。

- ・インサージョンローラー

封入をするためのローラーです。お手入れの必要はありませんが、付近に埃が堆積している場合はエアスプレーで埃を吹き飛ばして清掃してください。

- ・Q-Station (キューステーション)

封入するために封筒が待機する場所です。お手入れの必要はありませんが、付近に埃が堆積している場合はエアスプレーで埃を吹き飛ばして清掃してください。

- ・ジャムアクセスレバー

このレバーを持ち上げることで、Q-Station 全体を持ち上げることができます。封筒や封入途中に詰まってしまった場合、このレバーを持ち上げてハンドクランクを回すことにより、容易に用紙を除去することができます。

- ・封緘ブラシ

封筒に水を塗布するブラシです。経年劣化によりブラシが痛んでくると、水の付きが悪くなってきます。お手入れの必要はありませんが、水付きが悪くなってきたらコールセンターにご連絡ください。

- ・搬送ベルト

封入された封筒を搬送するベルトです。お手入れの必要はありませんが、経年劣化によりベルトが細く削れてくる場合があります。その場合は早めにコールセンターにご連絡ください。

- ・モイストナーセンサー

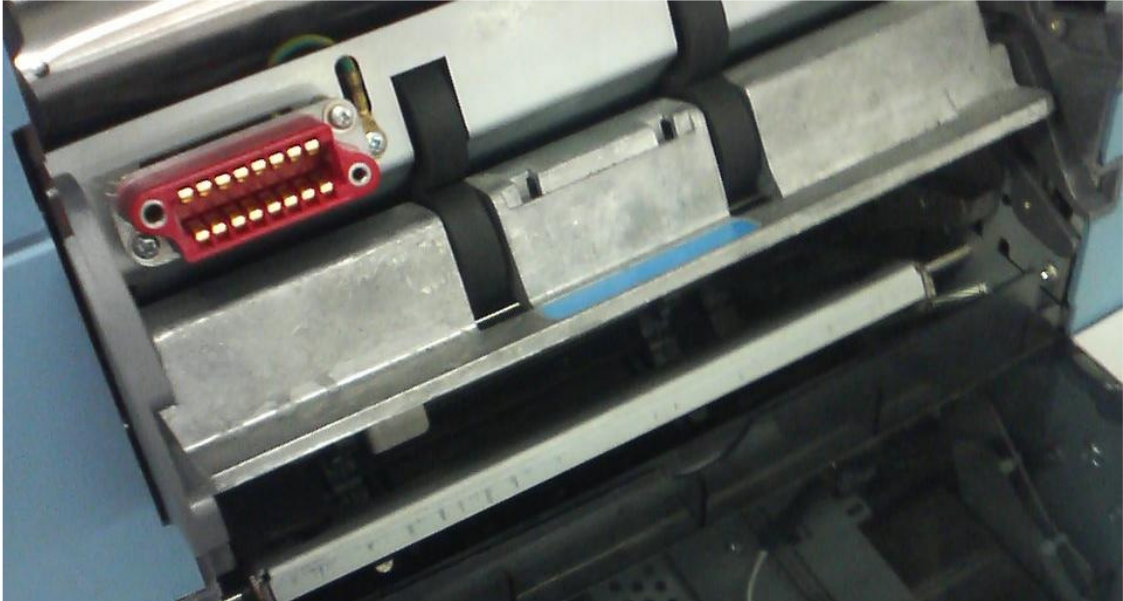
- ・出口センサー

2つのセンサーは封筒が通過したことを確認するためのセンサーです。お手入れの必要はありませんが、詰まった封筒や用紙を取り除く際に、用紙や封筒の進行方向に引き抜いてください。逆方向に引き抜こうとすると、破損してしまうことがありますので、十二分にお気をつけください。

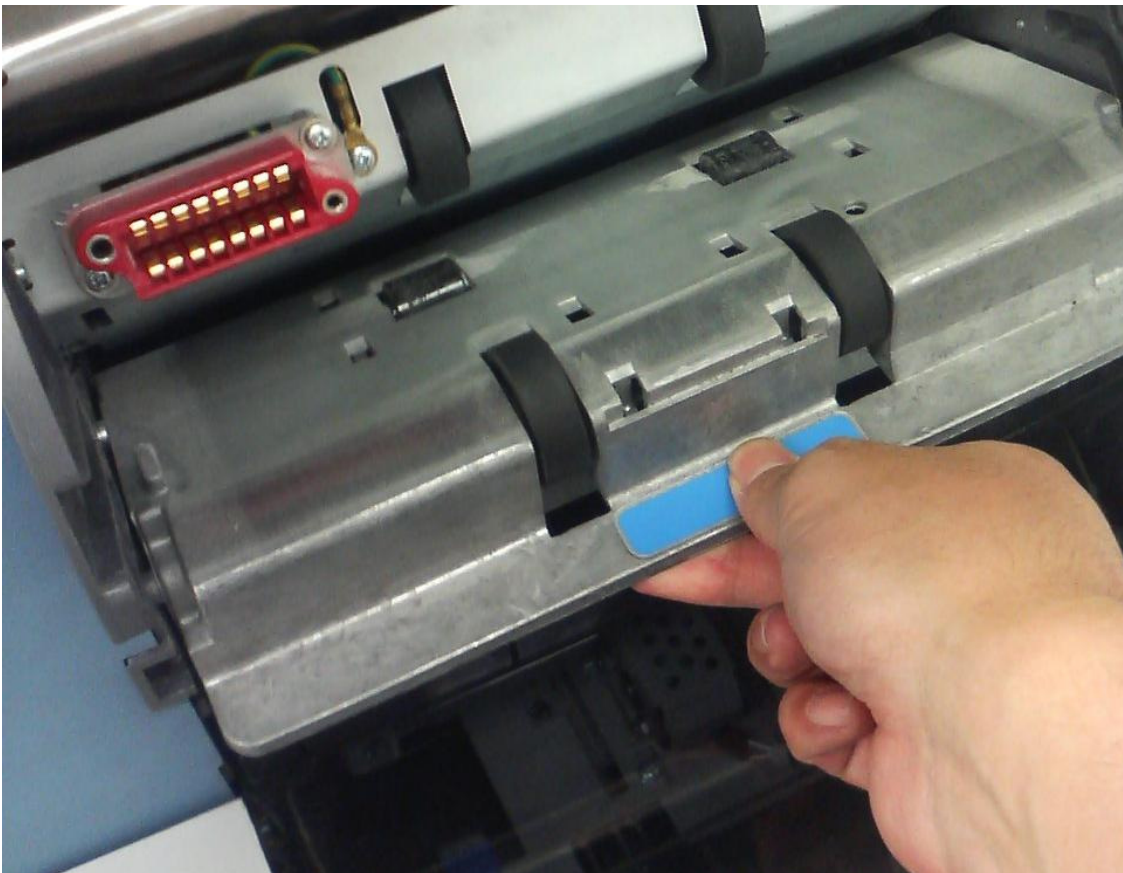
- ・シーラーローラー

水が付いた封筒のフラップを閉じるローラーです。汚れてくると、水は付いているが封緘できないといった現象が発生します。専用のローラークリーナーで清掃してください。

## 6. 折りローラー部の取り外し方



インサートフィーダーとその下の折りプレートを取り外すと、上記のようになります。水色のシールが張ってある箇所を掴んで引っ張ると、下記のように取り外すことができます。用紙詰まり時の対処の参考にしてください。

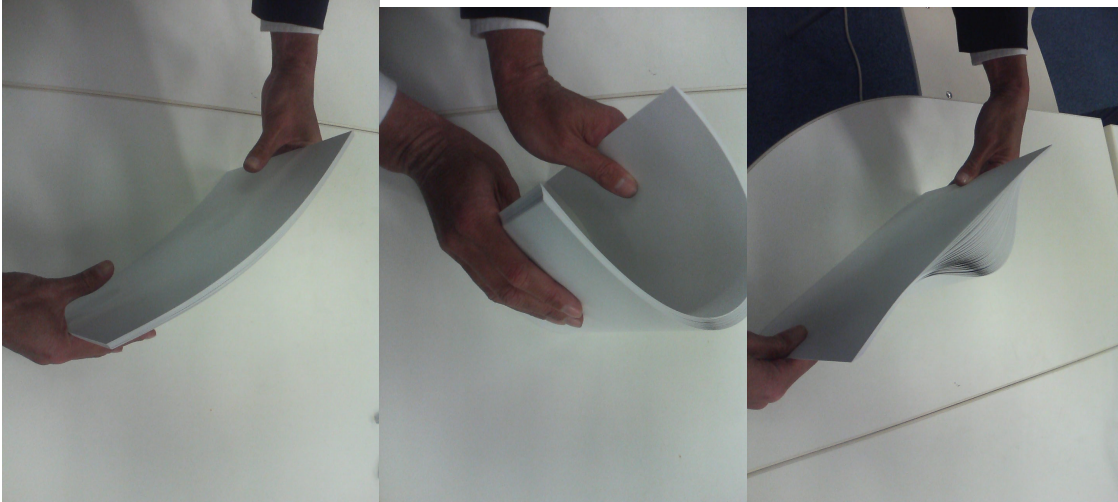




## 7. シートフィーダーへの用紙積載時の注意

まず、用紙の上下左右を揃えて、よく揃えてください。

用紙の揃え方のコツは、以下のとおりです。



(1)

(2)

(3)

(1)用紙を揃えて図のように指を開いて支えます。

(2)用紙を曲げて、用紙の両端を強く握ります。

(3)そのまま真っ直ぐに戻すと綺麗に揃うことができます。

用紙をシートフィーダーに載せ、サイドガイドを調整します。

この時、サイドガイドと用紙の幅を丁度に合わせてください。

サイドガイドと用紙の隙間が広すぎると、折ズレの原因となります。ご注意ください。

× 良くない例

サイドガイドと用紙の隙間が広すぎると折ズレの原因になります。

○ 良い例

ぴったりに合わせてください(多少の遊びは必要です)

遊びは、左右 1mm 程度必要です。

## 8. インサートフィーダーへの同封物積載の注意点



同封物は斜めに捌き、インサートフィーダーの背もたれと同じ角度にセットし、背もたれをローラーに近づけることによって最適な位置にセットすることができます。

同封物の厚みによって「厚み調整レバー」と「セパレートストーン切り替えレバー」を動かし、最適な厚みに調整してください。

また、シートフィーダーと同様に、サイドガイドと用紙の幅を丁度に合わせてください。サイドガイドと用紙の隙間が広すぎると、封入不良の原因となります。ご注意ください。

## 9. 封筒フィーダーへの封筒積載の注意点



封筒をよく捌き、封筒フィーダーの背もたれと同じ角度にセットし、背もたれをローラーに近づけることによって最適な位置にセットすることができます。

また、シートフィーダー・インサートフィーダーと同様に、サイドガイドと封筒の幅を丁度に合わせてください。サイドガイドと用紙の隙間が広すぎると、封入不良の原因となります。ご注意ください。

## 10. 折りプレートの取り外し方



折りプレート裏面に水色のレバーがあります。レバーを左右に引っ張りながら折りプレートを引き抜くことによって、取り外すことができます。

左右のプレート共、同じ構造をしていますので、同様の手順で引き抜いてください。

## 1 1. お手入れ用品のご案内と修理連絡先

J-061	エアダスター(370g 入)	1本	¥1,500
SV92215	ローラークリーナー	1本	¥2,400

消耗品の注文は、注文用紙の FAX またはネットにて注文することができます。  
お問い合わせは下記までよろしくお願いたします。

FAX フリーダイヤル : 0120-04-1998  
電話 : 03-5750-4366 (電話注文は不可)

また、修理や、機器についてのご不明な点は下記までお問い合わせよろしくお願いたします。

ピツニーボウズコールセンター  
フリーダイヤル : 0120-09-1995  
FAX : 03-5750-2211